

来店客に試食や試飲を勧める子どもたち＝大垣市
高屋町、カネ井青果アスティ大垣店



子ども店員「果物試食いかが」

大垣のカネ井青果で販売体験

旬を迎える飛騨地域の果物を小学生が青果店で販売する体験会が23日、大垣市高屋町のカネ井青果アスティ大垣店であり、4人が元気に売り声を上げて来店客に試食や試飲を勧めた。

夏休みの思い出づくりにと全国農業協同組合連合会県本部（JA全農岐阜）がカネ井青果の協力で初めて開催。23、24日に開催中の「飛騨の恵みフェア」に合わせ、西濃地域の小学2、4年生4人が参加した。

フェアでは「飛騨もも」

や「飛騨メロン」「こたま西瓜」が前面に売り出され、子どもたちは飛騨ももの試食販売に挑戦。「いらっしやいませ」「飛騨もも、ぜひ食べてみてください」と声を上げ、来店客に切り分けたももや飛騨ももの生ジュースを振る舞った。

参加した桃瀬鈴さん（8）

「大垣市」は「売るのは難しいけど、食べてもらえた時はうれしい」と笑顔。JA全農岐阜の担当者は「今年は雨が少なく糖度が乗った。岐阜の夏を代表するももやメロン、スイカを広く知ってほしい」と話していた。

（宮本寛）